災害時の避難における新型コロナ感染症対策等に関する

国民の意識や行動調査

集計結果(速報)

実施主体:CeMI環境・防災研究所(担当:作間)

監修:東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎

令和2年4月20日



目次

アンケート調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・2
アンケート調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
第一次調査 集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
I .災害リスクの認知と行動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅱ.新型コロナウイルス感染症への関心度・・・・・・・・・・・・・・・8
Ⅲ.新型コロナウイルス感染症による行動変容・・・・・・・・・・・・・・11
Ⅳ.災害時の避難と新型コロナウイルスの対応意識 ••••••••••17



アンケート調査の目的

新型コロナ感染症は、近代社会にとっても国難災害に匹敵するウイルス性感染症となった。 国の専門家会議の識者によれば、新型コロナウイルスの流行対策を何もしないと、国内での 重篤患者数が約85万人に上り、その半数の40万人以上が死亡すると予測した。

南海トラフ地震・津波に関する国の被害想定は、事前対策がない場合は、犠牲者32万になると予想している。つまり新型コロナ感染症は、何も対策を講じなければ、近い将来発生することが確実視されている超大型自然災害以上の国難災害になるかもしれない。

また新型コロナ感染症は、治療薬やワクチンが普及されるまで、完全な沈静化は難しい。少なくとも年単位の時間がかかると考えれる。 それまでの間、巨大台風は襲来するし、突発的な地震は発生する。つまり、「新型コロナ感染症」と「より安全な避難環境」をどう両立させるかの課題が自治体や国民に突きつけられているのである。

その意味で、新型コロナ感染症流行時にあっても、確実に感染防止ができる避難体制整備と仕組みつくりが急務と考える。

その方向性を見出すために、防災への関心が高い国民を対象に、これまでの避難行動、新型コロナ感染症への考え、その上での災害避難のあり方を探ることを目的にアンケート調査を実施することとした。



アンケート調査の概要

1. 調査手法 インターネット調査

2. 調査対象 下記5都道府県にお住いの方のうち、これまで水害や地震で避難 所・親戚知人宅(水平避難)や自宅の2階など(垂直避難)安全な 所へ避難された経験のある方

【対象都道府県】

北海道、東京都、大阪府、兵庫県、熊本県

3. 調査項目 I.災害リスクの認知と行動

Ⅱ.新型コロナウイルス感染症への関心度

Ⅲ.新型コロナウイルス感染症による行動変容

Ⅳ災害時の避難と新型コロナウイルスの対応意識

4. 調査期間 4月10日~14日

5. 調査主体 CeMI環境・防災研究所



第一次調査 集計結果

第一次調査(5都道府県)回答者2311人のうち、調査内容に応諾した2282人の調査結果(※今回の調査結果は速報値であり、後日公表される確報集計結果と数値が異なる場合がある。)

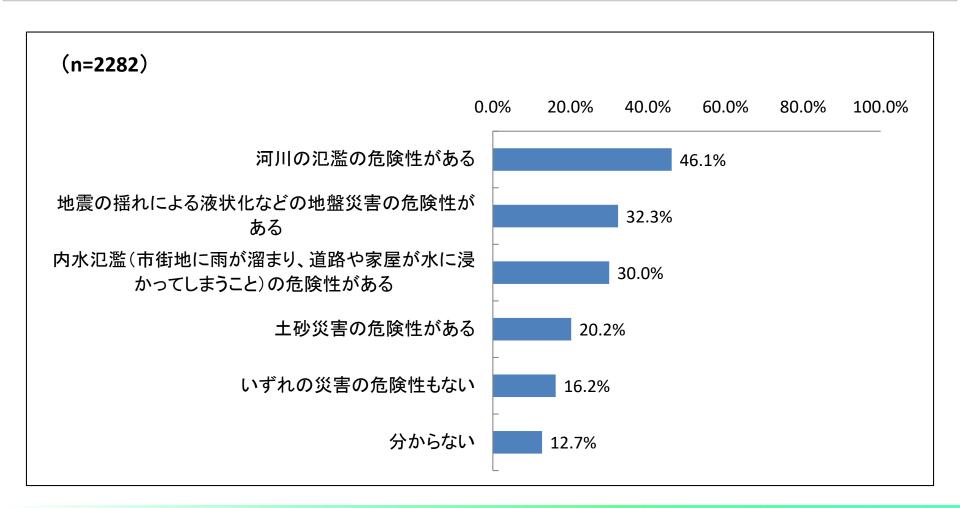


I.災害リスクの認知と行動



あなたのご自宅のある地区には、どのような災害が起こる可能性がありますか。次の中から当て はまるもの全てをお選びください。

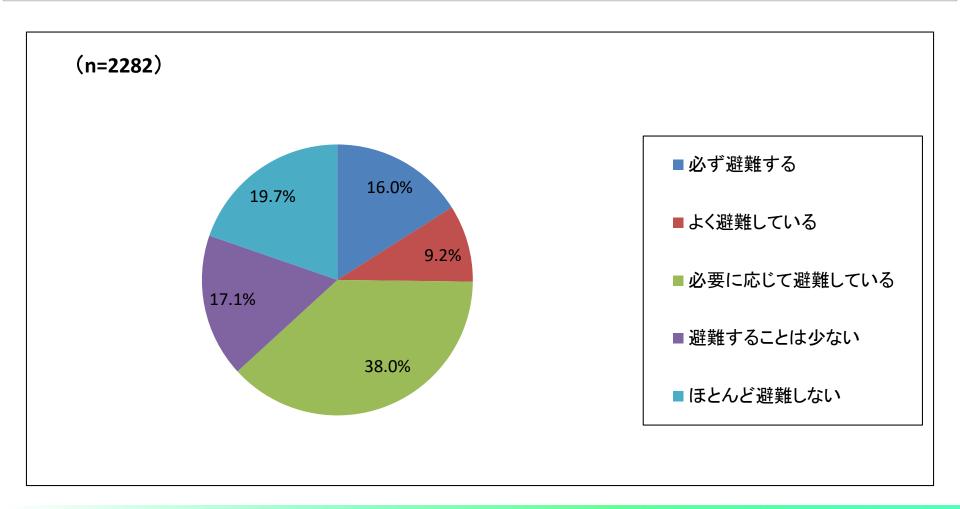
回答者のうち、46.1%は河川の氾濫の危険性がある地区に住んでいる。





あなたは、市町村から避難勧告などの避難の呼びかけがあった時や、災害が起きた、もしくは起 こりそうな時に、これまでどうしていましたか。あなたの行動に最も近いものを選んでください

これまで避難の呼びかけや災害が起こりそうな時に、必ず避難する人は16.1%、よく避難している人は9.2%となっている。



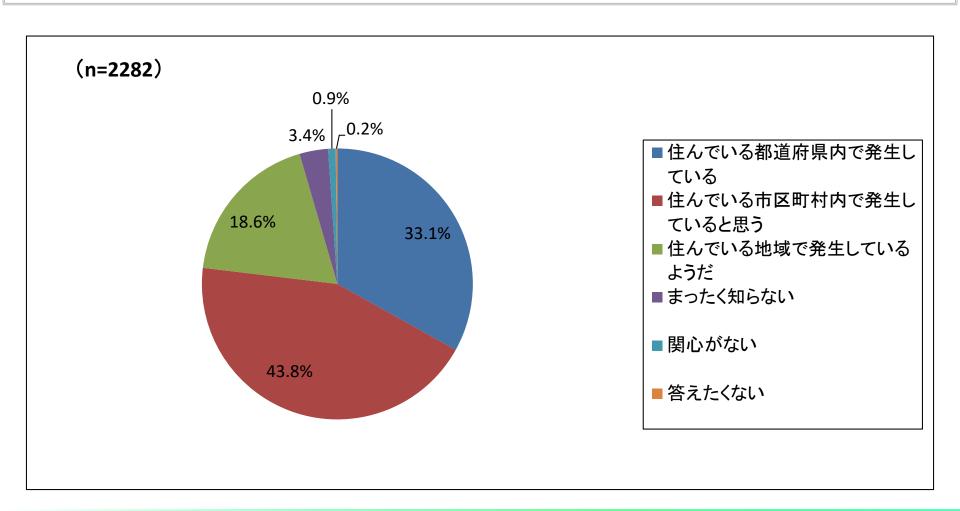


Ⅱ.新型コロナウイルス感染症への関心度



新型コロナウイルスの感染は、あなたにとってどの程度身近なところで発生していますか。あなたの知っていることについて、最も近いものをお教えください

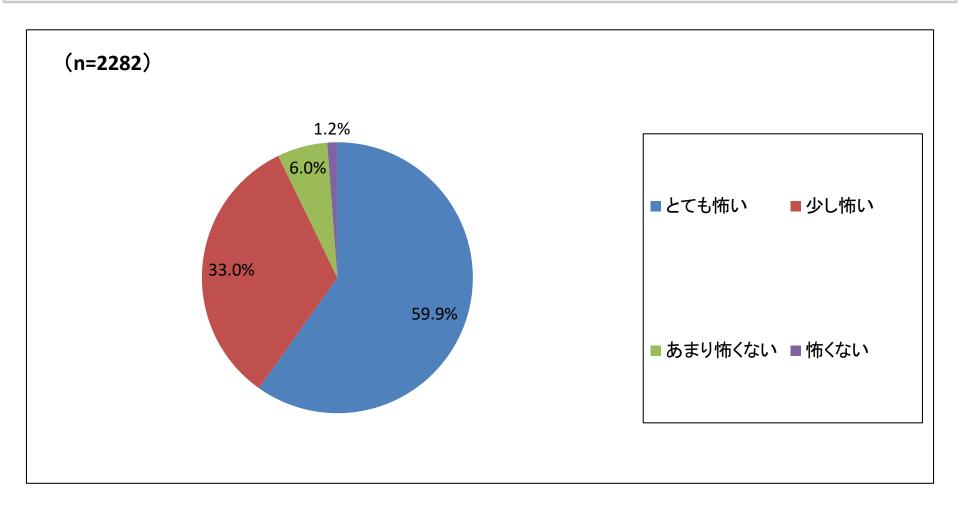
回答者のうち、43.8%は、住んでいる市区町村で新型コロナウイルスの感染が発生していることを認識しており、住んでいる地域で発生していることを18.6%が把握している。





新型コロナウイルス感染症に対して、あなたが思っていることについて、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。

新型コロナウイルス感染症について、59.9%がとても怖いと考えている。怖くないと考えている人は1.2%に留まる。



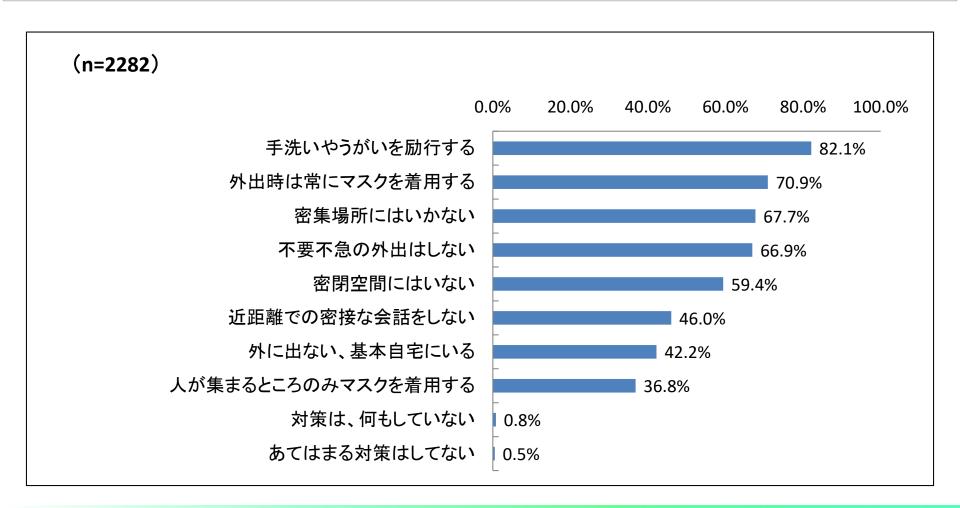


Ⅲ.新型コロナウイルス感染症による行動変容



あなたが、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策として、いま行っていることを次の中から選んでください。

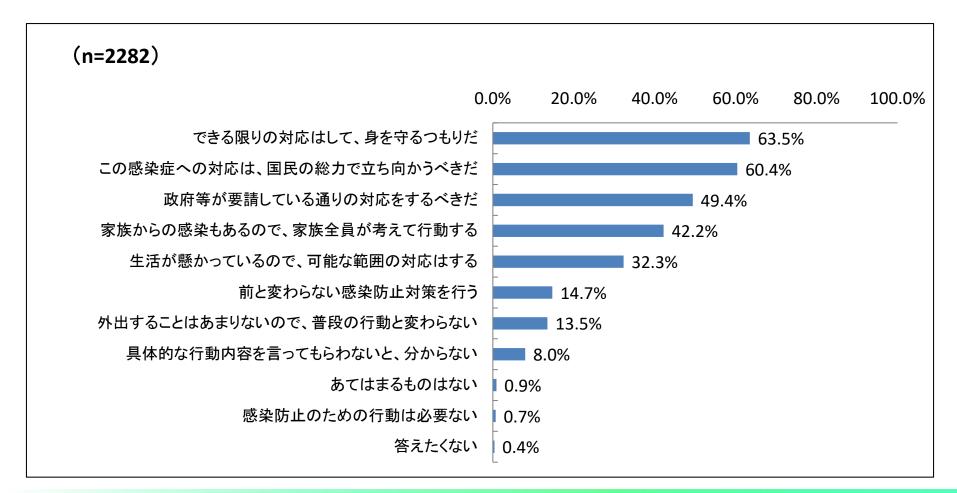
感染防止対策として多くの人が行っているのは、手洗いやうがいが82.1%、外出時は常にマスクを着用が70.9%となっている。その他の対策も多く、何もしていない人は0.8%であった。





4月7日に政府から7都府県に緊急事態宣言が発出されました。このことに対して、あなたはどう 行動すればいいと思いますか。

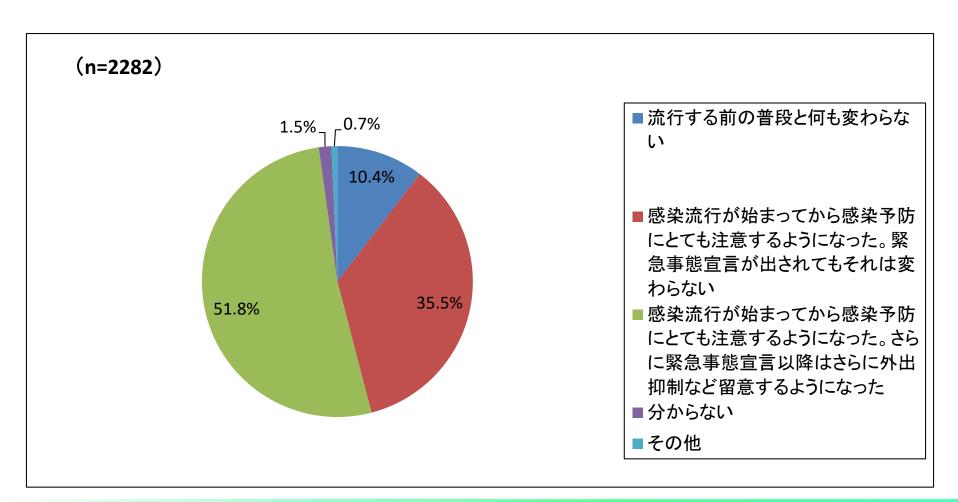
緊急事態宣言が発出されたことに対して、できる限りの対応はして身を守るつもりだと考えている人が63.5%と多い。





あなたは、新型コロナウイルス感染症が流行し始めて、感染防止対策など、対応が変わりましたか。

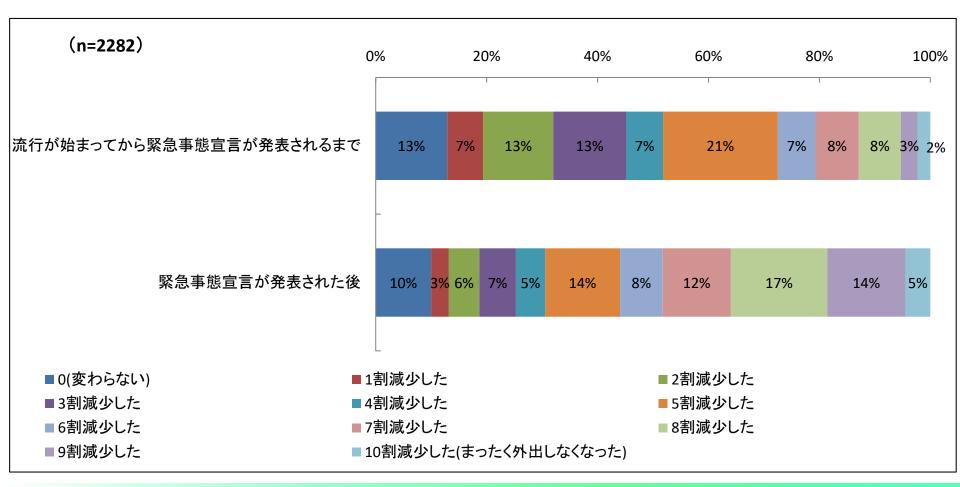
感染症の流行が始まってから感染予防に注意するようになり、緊急事態宣言以降はさらに外 出抑制に留意するようになった人が51.8%と多い。





新型コロナウィルス感染症が流行する前と比べて、外出する頻度はどの程度減少しましたか。

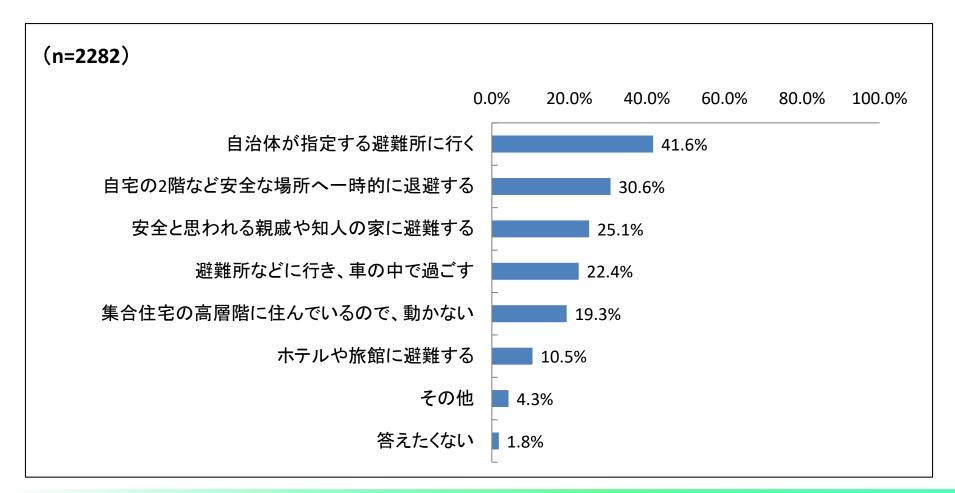
緊急事態宣言が発表されて以降、外出頻度が7割以上減少した人が48%(10割減:5%、9割減: 14%、8割減:17%、7割減:12%)となっている。





これまでに市町村から避難勧告などの避難の呼びかけがあった時や地震・水害が起きた時、水害が起こりそうな時に、どのような避難行動をとっていましたか。

これまでに避難の呼びかけや災害が起こりそうになった時の避難行動として最も多いのは、 自治体が指定する避難所に行く(41.6%)であった。



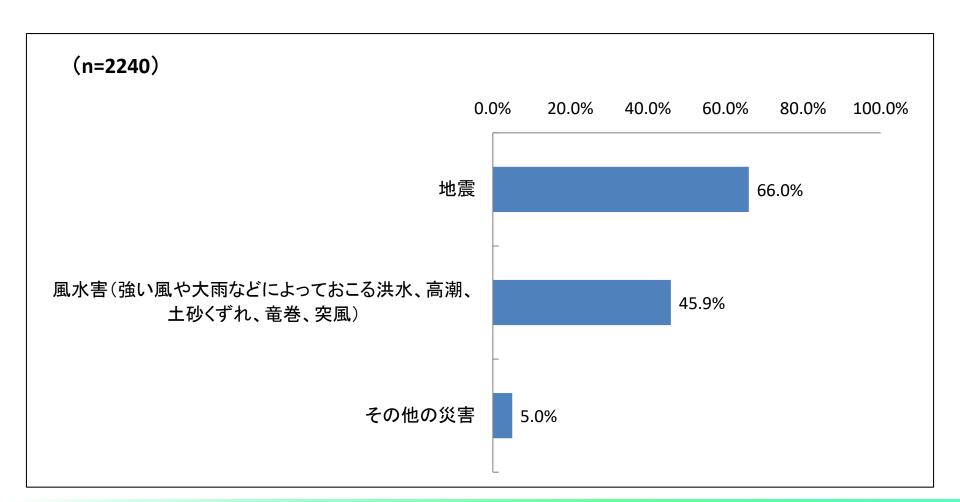


IV.災害時の避難と新型コロナウイルスの対応意識



あなたが、避難行動をとったのはどのような災害の時でしたか。あてはまるものをすべてお選びく ださい

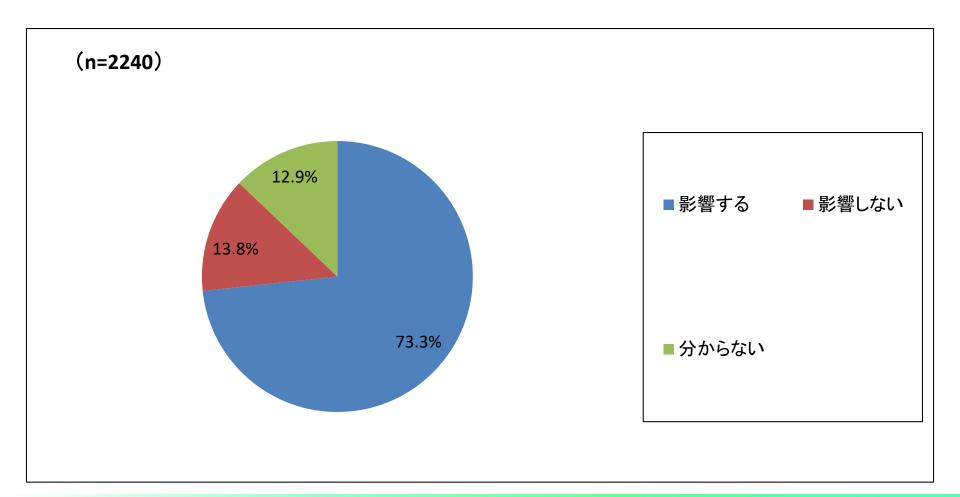
これまでに避難行動をとった災害は、66.0%が地震であり、45.9%が風水害であった。





新型コロナウイルスの感染拡大が、あなたの災害時の避難に影響すると思いますか。

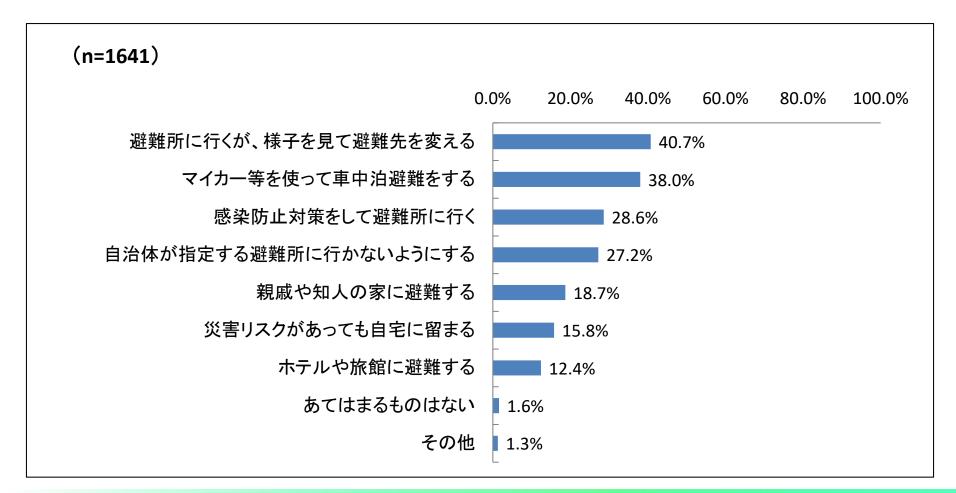
災害時の避難行動に対して、新型コロナウイルスの感染拡大が影響すると回答したのは73. 9%であった。





(前問で「1. 影響する」と答えた方)新型コロナウイルスの感染拡大は、あなたの避難行動に具体的にどのような影響を与えると思いますか。

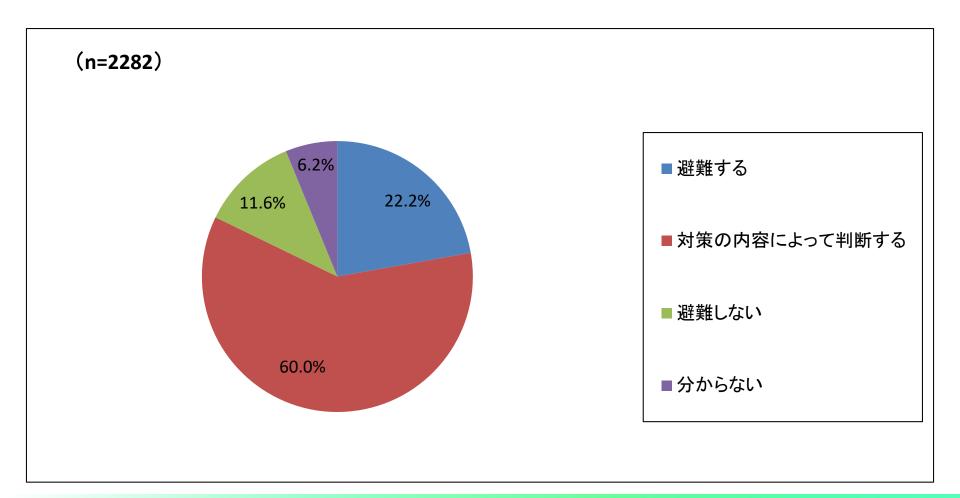
新型コロナウイルスの感染拡大が避難行動に影響すると回答した人(1641人)のうち、40.7%は避難所の様子を見て避難先を変えると回答している。





あなたは、避難所において新型コロナウイルスへの感染防止対策が行われていれば、避難しま すか

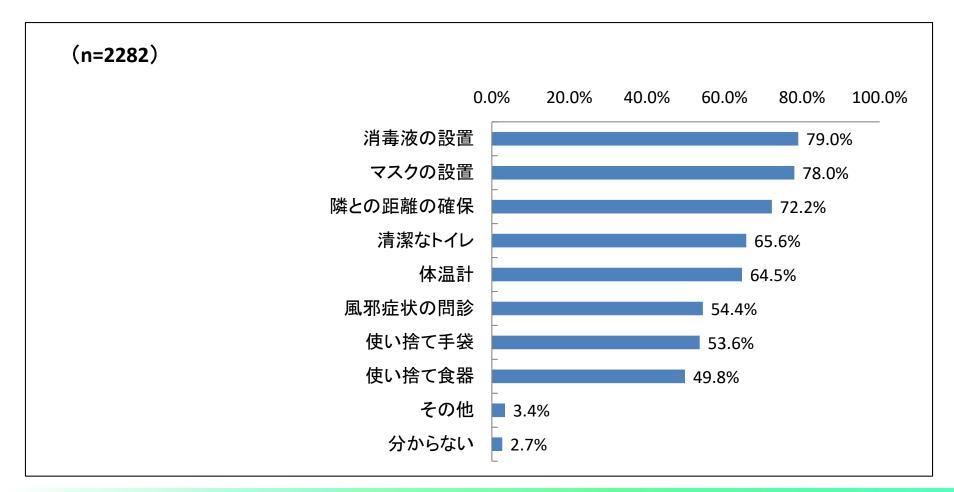
避難所への避難について、新型コロナウイルスの感染防止対策の内容によって判断すると回答した人が60.0%となっている。





あなたは、避難所において新型コロナウイルスへの感染防止対策として、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から必要だと思うものをすべて選んでください。

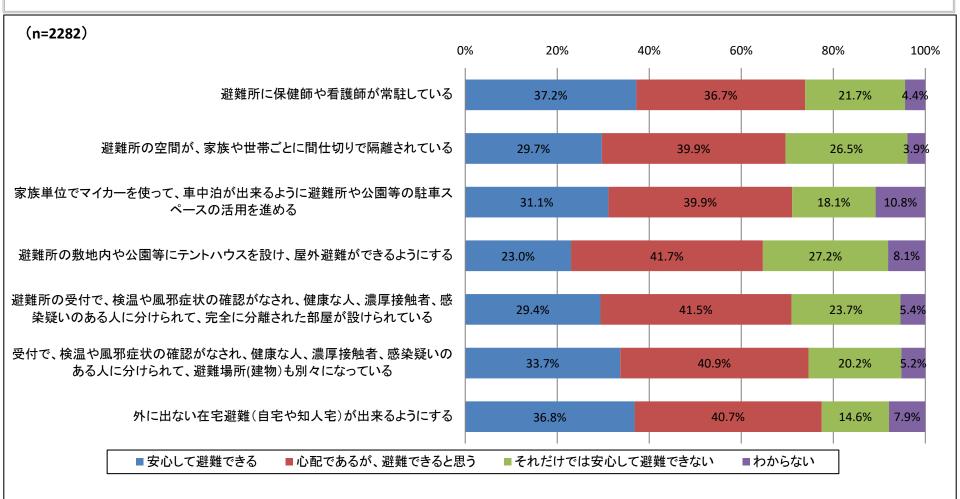
避難所の新型コロナウイルス感染防止対策として必要だと考えていることは、消毒液の設置が79.0%、次いでマスクの設置が78.0%、隣との距離の確保が72.2%となっている。





新型コロナウイルスへの感染防止対策として、どのようなことが併せてなされていれば、安心して <u>避難できると思いますか。それぞれの対策について、</u>あなたの考えに最も近いものを選んでください。

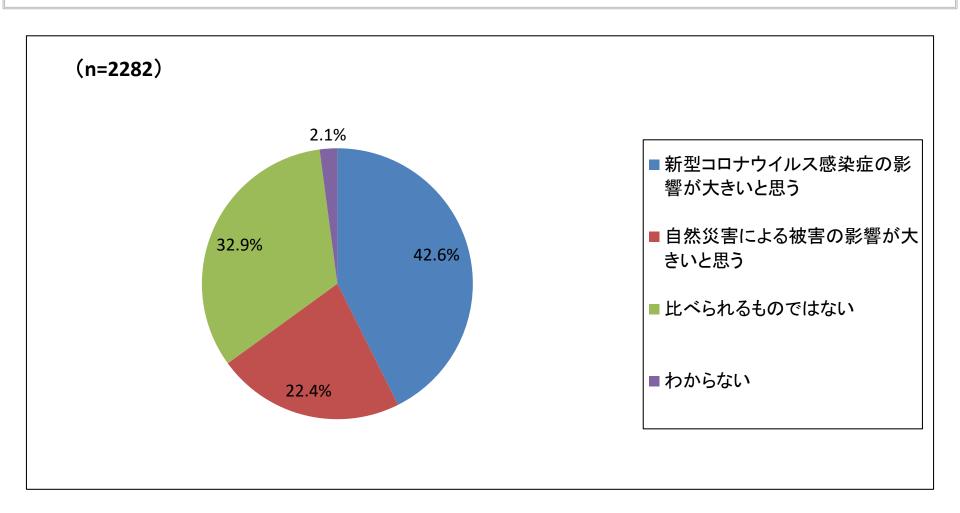
災害時の避難に関する感染防止対策について、安心して避難できると回答者が考えている対策は、避難所に保健師や看護師が常駐が37.2%、在宅避難ができるようにするが36.8%、健康な人と感染疑いの人の避難場所を別々にするが33.7%となっている





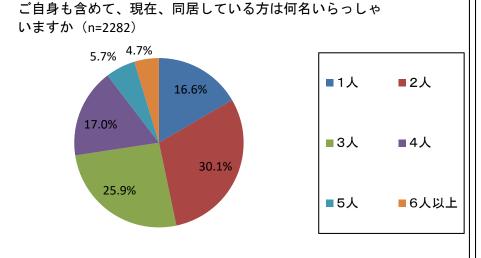
新型コロナウイルスの感染リスクと地震や洪水による災害リスクについて、あなたにとってどちらのリスクが影響あると思いますか。

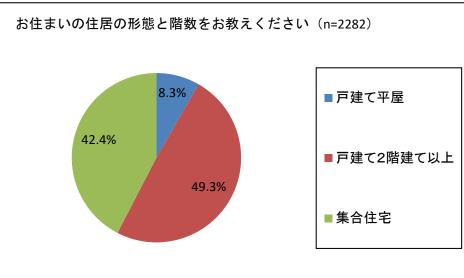
地震や洪水による災害リスクと新型コロナウイルスの感染リスクの影響を比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えている人が42.6%と多かった

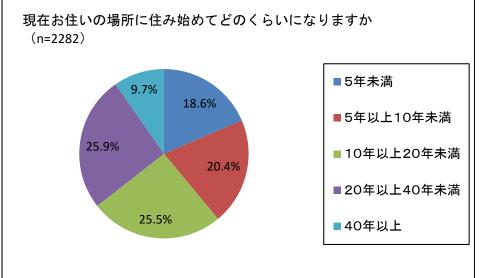


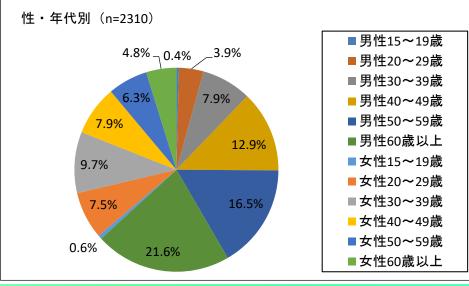


回答者の属性











©環境防災総合政策研究機構 環境·防災研究所